

平成 22 年度 ひらめき☆ときめきサイエンス
 ～ ようこそ大学の研究室へ ～ KAKENHI
 を開催しました。



プログラム名

「見えない」障がいをもつ人と、会って、話して、遊んでみよう

実施代表者：日本赤十字北海道看護大学 看護学部 講師 吉谷 優子

ひらめき☆ときめきサイエンスとは、大学で行っている最先端の科研費の研究成果について、小学校5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

本学では小学校5・6年生及び中学生を対象にしたプログラム『「見えない」障がいをもつ人と、会って、話して、遊んでみよう』を、平成 22 年 10 月 2 日(土)に開催しました。

プログラムの目的

本プログラムでは、将来を担う子ども達が障がい者と触れ合う機会を設け、障がいの中で、特に見た目にはわかりにくい「精神障がい」を持つ人との交流を通して、障がいの多様性と必要な支援、「ノーマライゼーション」実現について考える機会を設けることを目的にプログラムを考えました。

プログラムの概要

※「社会福祉法人北の大地」の適所利用者の方等の協力を得て実施しました。

①講義

「ノーマライゼーション社会の実現を目指して」と題し、精神障がいの説明や精神障がい者の普段の生活、就労支援活動について説明しました。



②ゲームによるアイスブレイキング

③絵画制作

地域の障害者就労支援施設に通所する精神障がい者、子ども達、施設の支援員、プログラム実施者を交えて7グループに分かれ、障がいの体験、障がい者との交流の体験、などを語り合いながら、「ノーマライゼーションが実現された将来のまち」という絵を各グループで作成し、楽しみながらノーマライゼーションを考えました。



④作品発表会



⑤修了式（「未来博士号」授与）

受講者全員に対して石井学長から修了証書がひとりひとりに手渡され、「未来博士号」が授与されました。

